

Cente Technical Information

発行番号	001-0009	Rev	第1版	発行日	2009/04/23
題名	FTPサーバで、データ送信が失敗したにもかかわらず転送完了を通知する不具合について				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">•Cente TCP/IPv4 Ver.1.00 - Ver.1.30•Cente TCP/IPv4 SNMPv2 Ver.1.00 - Ver.2.10•Cente TCP/IPv4 SNMPv3 Ver.1.00 - Ver.2.10•Cente IPv6 Ver.1.00 - Ver.1.40•Cente IPv6 SNMPv2 Ver.1.00 - Ver.2.10•Cente IPv6 SNMPv3 Ver.1.00 - Ver.2.10				
関連資料	なし				

【症状】

FTPクライアントがCenteミドルウェアのFTPサーバからファイル取得(GET)を行ったとき、データ転送が異常終了したにもかかわらず、FTPクライアントで正常終了と判断される場合があります。その結果、転送されたファイルの長さが短いなどの症状となります。

【詳細】

CenteミドルウェアのFTPサーバでは、tcp_snd_dat(TCP送信API)がすべて正常終了したなら転送が完了したと解釈しています。しかし、実際にはtcp_snd_dat()はTCP送信バッファにデータを書き込んだ時点で正常終了し、その後呼び出すtcp_cls_cep(TCP切断API)が全てのデータの送信完了を待っています。この時点で通信エラーが発生した場合、ファイルは全て送信されていないにもかかわらず、「転送完了」を通知していました。FTPクライアントが、コントロールポートで通知された「転送完了」で結果を判断している場合、上記のような症状となります。

【回避方法】

ソースコードを変更し、TCP切断APIがエラーした場合は「転送エラー」を通知するようになる必要があります。
(変更箇所については、別途お問い合わせください。)

以上